

# ◇天皇賜盃 第91回日本学生陸上競技対校選手権大会◇

2022年9月9日(金)～11日(日) 於:たけびしスタジアム京都(西京極)

## 【男子】

種目	氏名(学年)	記録	備考
400m	山科 真之介(3)	47"63	
400mH	山科 真之介(3)	★50"66	★学内新、自己新
400mH	塚原 啓太(3)	55"01	
4×400mR	谷垣幹、山科 藤本、渡邊	3'13"15	歴代2位

## 【女子】

種目	氏名(学年)	記録	備考
棒高跳	田畑 奈都希(3)	NM	



400mH 山科(3) 左から3人目

## 〈出場者コメント〉

### 【男子 400m】

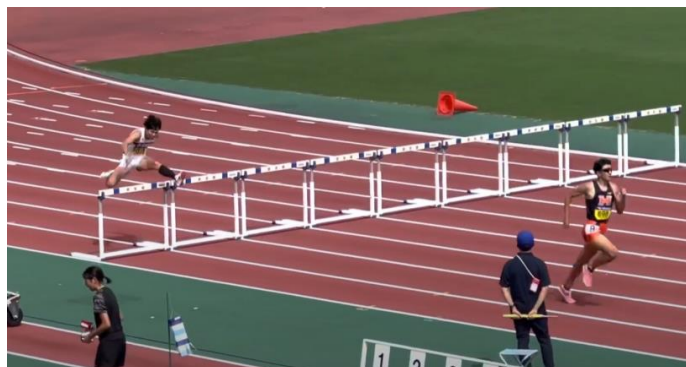
#### 山科真之介 (3)

決勝進出を目標に挑戦しましたが、終始スピード感のない煮え切らないレースをしてしまいました。来シーズンこそ45秒台を出せるよう、日々出来ることに全力で取り組みます。今後も引き続きご声援よろしくお願いします。

### 【男子 400mH】

#### 塚原啓太 (3)

記録を狙っていた分、今回の結果はとても残念でした。しかし、攻めた走りをした結果でもあり、今後の良い経験になったと思います。来年はより強くなって、リベンジを果たします。応援していただきありがとうございました。



400mH 塚原(3)

### 山科真之介 (3)

優勝を目指していましたが、全く自分の走りが出来ず予選落ちしてしまい、本当に情けないです。練習ではかなり良いタイムで走れてきているので、国体では自分の力を最大限発揮し笑って今シーズンを終わられるようにします。

### 【男子 4×400mR】

#### 1走 谷垣幹 (2)

実力不足を痛感しました。このような大きな舞台で勝負ができるように日々精進していきたいと思います。応援ありがとうございました。

#### 2走 山科真之介 (3)

個人としては1位で3走に回すという役目を果たすことができず、チームとしても課題の多く残るレースでした。しんどい展開ではありましたが、みんなで攻めの気持ちをもって強豪に挑めたことは良い経験になったと思います。この悔しさを糧に、来年は全国レベルでも戦えるようなチームに成長してこの舞台にリベンジしに来るので、今後とも応援よろしくお願いします。



4×400mR 谷垣(2) → 山科(3)

### 3走 藤本 亮(1)

ラップタイム 46 秒台を狙いましたが遠く及ばず、スピードと耐える力の両方が力不足でした。3分1桁をアベレージで出すために、ランメニューの際は積極性を重要視していきます。短長パートの勢いをさらに加速させチームに貢献していきます。

応援・サポート等ありがとうございました。

### 4走 渡邊拓海(3)

学内記録の更新はもちろん、3'10 切りを目指すメンバーで臨みましたが、結果は 3'13"15 でした。この一因には、パート長である私自身の練習、調整ミスもあると思います。まだシーズンは続いており、来年も全カレでリベンジするチャンスがあります。応援してくださる方々のご期待に応えるためにも、鍛錬します。

ご声援ありがとうございました。



4×400mR 藤本(1) → 渡邊(3)

### 【女子棒高跳】

#### 田畑奈都希(3)

久しぶりの全国大会で、周りの独特な雰囲気にも呑まれてしまって、記録なしで終わってしまい情けないです。いつも通り跳べていれば入賞圏内だっただけに、本当に悔しいです。しかし、久しぶりに有観客で開催された全カレで、全国の強豪選手と共に競技できたことは、とても良い経験になりました。安定感と勝負強さを身につけ、来年この舞台でリベンジできるよう、一年間頑張ります。

応援ありがとうございました。



女子棒高跳 田畑(3)

### ご声援ありがとうございました！（敬称略）

[新 17] 椎木茂久 [新 18] 平田明男 [新 21] 絹田清昭 [新 27] 田代雅彦  
[新 30] 山本達男 [新 57] 篠原康男 [新 66] 藤田竣也 [新 68] 南部 慎